



「DO!」：男女共同参画社会実現のために、職員一人ひとりが考え、そこから一歩進んで「実行する」ことを願って名付けました。

WLB（仕事と生活の調和）について考える

新入職員の皆さん、男女共同参画職員研修を受講していない皆さんへ。

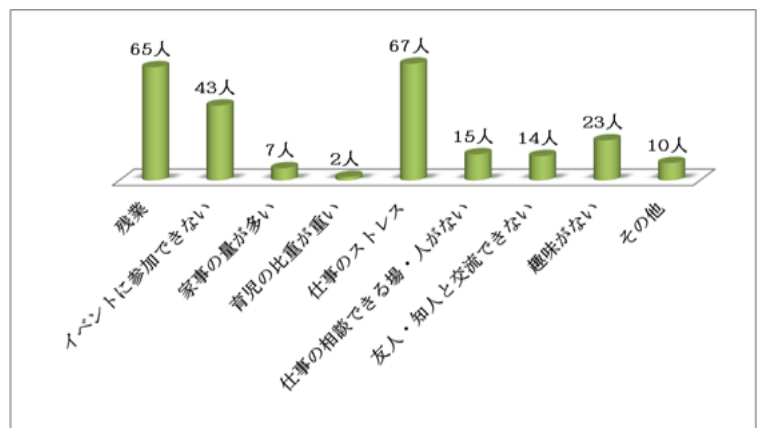
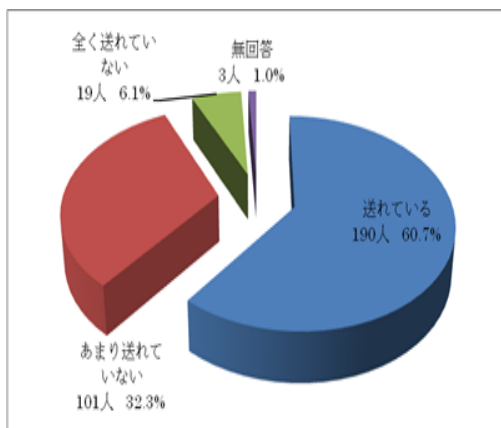
W = ワーク : 仕事
 L = ライフ : 仕事以外の生活
 B = バランス : 調和



平成 29 年度男女共同参画プラン推進庁内連絡会議で、全職員対象に実施したアンケート「職場における男女共同参画意識調査の報告」から、WLBに関する結果を見てみましょう。

【現在あなたは、充実した家庭生活が送れていますか】

【「送っていない」「あまり送っていない」理由はなんですか（複数回答）】



報告書では、WLBを阻害する要因は「残業の有無等、仕事の量（257人）」「仕事のストレス（170人）」であると回答する者が圧倒的に多くなっています。

健康で、良い仕事をするためにも、リフレッシュの時間は欠かせません。職員一人ひとりがWLBを意識し、メリハリをもって仕事に取り組んで行きましょう。

（報告書全文はグループウェア・ライブラリに掲載中）

ワーク ライフ バランス

W L B

(仕事と生活の調和)

を推進しましょう!



Q ワーク・ライフ・バランスって何？

A ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和のことです。



性別や年齢等にかかわらず、各人の置かれた状況に応じて、仕事と仕事以外の生活、双方の充実のため、柔軟な発想で働き方や生活のあり方を変えていこうとする取り組みです。

Q なぜワーク・ライフ・バランスが必要なの？

A 少子高齢化が進み人口が減少していく中、男女を問わずこれまで以上に、仕事と仕事以外の役割(子育て・介護、地域活動等)を担う人が増えています。

企業としても、労働人口の減少に伴って、女性や高齢者など、まだ労働市場に参加していない人材を確保する必要が生じています。

このような中、多くの人に‘働きたい’‘働き続けたい’と思ってもらえる魅力的な企業の条件に、ワーク・ライフ・バランスの推進が挙げられています。

介護があるから、残業できないなあ。



子どもが小学生になるまで、短時間勤務にしてもらえないかなあ。

就職するなら、趣味が続けられる会社が良いなあ。